



なかきた

第47号

2023(令和 5)年

8月



中城北中城消防組合

中城北中城消防本部・消防署

〒901-2314 北中城村字大城 404 番地

TEL 098-935-4747

FAX 098-935-3338

URL <https://www.nakakita-fd-okinawa.jp>

中城出張所

〒901-2406 中城村字当間 170 番地

新職員紹介



おおしろ ゆい
大城 優衣

《プロフィール》
平成5年生まれ
城西国際大学卒



おなが しゅんすけ
翁長 駿介

《プロフィール》
平成14年生まれ
専門学校日経ビジネス卒

大城優衣と申します。

私が生まれ育ったこの地元を守りたいという気持ちで女性消防士として老若男女に安心感を与えられるよう自分の力を発揮していきたいと思います。

中城村、北中城村の住民が安心安全な暮らしができるように努めてまいります。

翁長駿介と申します。

私は幼いころから育ってきた中城村、北中城村の住民の命を守りたく消防士を目指しました。

現在、研修を受けている消防学校で知識と技術を修得し、立派な消防士になれるように尽力いたしますのでよろしくお願いします。

中城北中城消防初の女性消防吏員 大城優衣消防士に質問してみました

Q1 消防を目指したきっかけ

生まれ育った地元に貢献したいという気持ちと体力には自信があったため、その両方を活かせる仕事として消防士を目指しました。

Q2 消防学校でつらいこと

小学生から社会人まで陸上競技を続けてきましたが、やはり訓練では筋力を使うことが多く、苦戦する部分があります。ですが、教官や同期からアドバイスを頂いたり、励ましてもらったりすることで乗り越えることができています。



Q3 今後の目標

女性ならではの視点を活かし、同性の方や子ども達、ご年配の方々に安心感を与えられる存在になれるよう常に相手の気持ちを考えて接していきたいです。

Q4 休日の過ごし方

ランニングや筋力トレーニングなどを行い、体力維持に努めています。また友人、知人と食事やショッピングに行くことで、リフレッシュすることができています。

消防の予算について

令和 5 年度中城北中城消防組合の一般会計歳入歳出の総額は、645,089 千円となっており、前年度の当初予算に比べ 58,606 千円の増額となっております。

歳入の内訳としては、分担金及び負担金 592,427 千円(構成比:91.84%)、国庫支出金 17,077 千円(構成比: 2.65%)、地方債 16,800 千円(構成比: 2.60%) などとなっており、国庫支出金及び地方債の増額は、平成 20 年度購入の老朽化した高規格救急自動車更新に係る事業費となっております。

歳出の内訳としては、総務費 82,833 千円(構成比:12.84%)、消防費 517,356 千円(構成比:80.20%) などとなっており、総務費の増額は、電気料金の値上げや退職手当特別負担金に係る経費が、消防費の増額は、高規格救急自動車整備事業、水難救助用バイク更新事業及び消防庁舎建設事業(令和 8 年 3 月完成予定)に係る経費が主な要因となっております。

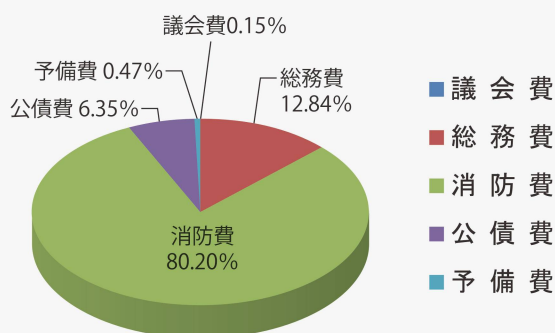
(単位:千円)

歳入	令和 5 年度 予算額 A	令和 4 年度 予算額 B	増 減 額 C=A-B	増減率 (%) C/B×100	構成比 (%) A/ 歳入合計
分担金及び負担金	592,427	567,028	25,399	4.5	91.84
使用料及び手数料	301	301	0	0.0	0.05
国庫支出金	17,077	1	17,076	1,707,600.0	2.65
県支出金	1	1	0	0.0	0.00
財産収入	2	2	0	0.0	0.00
繰入金	1,747	1,322	425	32.1	0.27
繰越金	6,000	6,000	0	0.0	0.93
諸収入	10,734	11,827	△ 1,093	△ 9.2	1.66
地方債	16,800	1	16,799	1,679,900.0	2.60
歳入合計	645,089	586,483	58,606	10.0	100.00

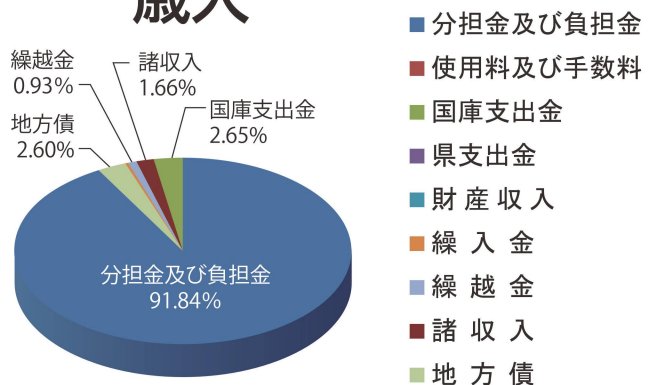
(単位:千円)

歳出	令和 5 年度 予算額 A	令和 4 年度 予算額 B	増 減 額 C=A-B	増減率 (%) C/B×100	構成比 (%) A/ 歳入合計
議会費	950	950	0	0.0	0.15
総務費	82,833	74,171	8,662	11.7	12.84
消防費	517,356	465,387	51,969	11.2	80.20
公債費	40,950	42,975	△ 2,025	△ 4.7	6.35
予備費	3,000	3,000	0	0.0	0.47
歳出合計	645,089	586,483	58,606	10.0	100.00

歳出



歳入



防災救急フェアの開催について

～地域医療を目指して～

あなたの**勇気**が**命**を救う

AEON MALL
Okinawa Rycom

2023 **9/9 土** 10:00～16:30

会場：イオンモール沖縄ライカム



毎年9月1日は「防災の日」、9月9日は「救急の日」と定め、この日を含む1週間を「防災週間」、「救急医療週間」としています。

防災週間は「台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するため」に、救急医療週間は「救急医療及び救急業務に対する理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図る目的」として設けられています。

中城北中城消防本部におきましても、防災・減災及び救急普及啓発活動を以下の内容で開催しますので、皆さまのご来場をお待ちしています。

内容

- ①応急手当体験コーナー
- ②ドクターカー（中部徳洲会病院・ハートライフ病院）及び中城北中城消防本部救急車の展示
- ③ぬり絵、救急車ペーパークラフト
- ④救急隊ガウン、子ども防火衣を着装しての記念撮影
- ⑤13mブーム付多目的消防ポンプ自動車（MV F）の展示、搭乗体験
- ⑥パネル展示コーナー（防災、減災、救急、自助、共助、公助）





派遣型ワークステーションについて

現在、中城北中城消防本部では、中部徳洲会病院にて派遣型ワークステーションを行っています。

派遣型ワークステーションとは、医療機関に救急車と共に救急隊員を派遣し、医師や看護師の指導を受けながら、救急処置の実習や、救命処置の補助を行うことにより知識・技術を向上させる教育の拠点です。

実習中に救急要請があった場合、早期医療の介入及び教育を目的に、状況に応じて医師や看護師が救急車に同乗し、救急隊の活動内容に対する指示や助言を行います。

災害出動先は中部徳洲会病院から近い島袋・比嘉・屋宜原・瑞慶覧地区です。

病院実習では、院内スタッフと顔の見える信頼関係を構築し、継続し実習することで病態の経過を含めた総合的な実習で救急隊全体のレベルアップを図っています。



訓練 Topics

中部徳洲会ドクターカー連携訓練

今年度より中部徳洲会病院とドクターカー協定を締結したことから、3月に連携強化を図ることを目的とした訓練を行いました。ドクターカーとは心肺停止傷病者や重傷外傷を負った傷病者に対し、一刻も早く高度の医療処置を開始するため、医師、看護師、救急救命士等が同乗し現場に出動する緊急車両です。

訓練当日は救急隊と医療スタッフが迅速確実な活動を目指し、各々の役割を確認しながら訓練を行いました。



中城北中城消防本部 県大会上位入賞！

日頃磨き上げた救助技術を競い合う沖縄県消防救助技術指導会が5月26日（金）沖縄県消防学校（中城村）で開催されました。今大会は47回目となっており県内18消防本部の隊員が参加し、本消防本部からも3小隊11名が参加しました。特に建物と建物をロープで張り救出するロープブリッジ救出において1小隊が上位の成績となり、7月21日の九州消防救助技術指導会へ出場します。出場する仲田小隊長は、「これからも住民の付託に応えるため安全かつ迅速確実に消防救助技術を磨き上げていきます。」と話していました。



中部6消防本部 合同水難救助訓練で連携を強化

6月8日（木）からの2日間、宜野湾漁港（宜野湾市）で宜野湾市消防、中城北中城消防、浦添市消防、うるま市消防、沖縄市消防、ニライ消防の各本部は水難事故が起きた際に相互の連携の強化と技術の向上を目的とし中部消防長会主催の合同訓練を実施しました。訓練には那覇海上保安部がゲスト参加し、49名の水難救助隊員が水上搬送技術や水難事故を想定した水中検索の連携強化を確認しました。また、救助艇や水上バイク隊も出艇し安全管理を徹底した活動を強化する確認も行われました。



消防団PRイベント



令和5年4月16日(日)、「島ぜんぶでおーきな祭第15回沖縄国際映画祭」と「イオンモール沖縄ライカムコラボレーションイベント」が開催されました。その会場で、間寛平さん率いる地域を守る消防団として、中城北中城消防組合消防団を含む中部地区の消防団員12名が消防団PR活動を行いました。

吉本興業の芸人と消防団員の掛け合いで会場が笑いに包まれました。



『イオンモール沖縄ライカム』



『那覇市国際通り』

新入団員の紹介



池原由夏



(北中城村在勤)

池原由夏と申します。消防団員として専門的知識や技術を学び、災害時や緊急時に地域の皆さんのお役に立てるよう励んで参ります。

大城竜二



(北中城村在勤)

大城竜二と申します。消防団員として防災・減災に関する知識を学び、地域防災への貢献を目標に活動していきます。

中城村・北中城村にお住まいの皆さま～ 住宅用火災警報器はここに付けましょう！

設置する場所

子供部屋や高齢者の居室など、
就寝に使われている部屋には取付けましょう。

- 寝室・階段への取付けは義務付けられています。※ 平成 20 年 6 月 1 日からすべての住宅に適用です。
- 台所への取付けもおすすめします。※ 一番出火危険の大きい台所には、是非設置したいものです。



住宅火災では、**逃げ遅れ**が原因で死亡するケースが非常に多く、なかでも**就寝中**に犠牲になってしまう確率が高くなっています。そのため、就寝中であってもし早く火災に気づくことができるよう**寝室と階段(※)**に『住宅用火災警報器』を設置することが**消防法で義務**づけられています。

また、階段が含まれている理由は、煙は階段を通じて上階へ広がることから、上階の部屋に煙が充満する前に警報を発して避難を促すためです。(※上階にも寝室がある場合が義務です)

正常な場合は？

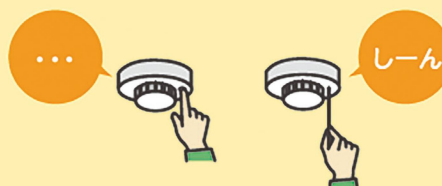
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注)警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



- それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

まずは、音を聞いてみてね♪



『住宅用火災警報器』は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるためとても危険です。**10年を目安に本体ごと取り換える**ことをおすすめします。設置時期を調べるには設置した時に記入した**設置年月日**又は、本体に記載されている**製造年を確認**してください。